

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2019-153340 (P2019-153340A)  
【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-037  
【出願番号】特願 2019-96621 (P2019-96621)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 8/34 (2018.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 8/34

G 0 6 F 3/0481

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 13 日 (2020.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置を、

サーバで実行可能なプログラムを生成するための定義情報であって、前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に含まれる画面項目に係る定義情報を用いて、前記画面情報を生成するためのプログラムを生成するプログラム生成手段と、

前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に対応するプレビュー画面を、前記定義情報のうち前記画面項目の表示に係る定義情報を用いて生成するプレビュー画面生成手段

として機能させるためのプログラム。

【請求項 2】

前記定義情報のうち前記画面項目の表示に係る定義情報を抽出する表示定義情報抽出手段と、

を有し、

前記プレビュー画面生成手段は、前記プレビュー画面を、前記定義情報を用いて生成させることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記表示定義情報抽出手段は、前記定義情報のデータ種別を抽出し、

前記プレビュー画面生成手段は、前記表示定義情報抽出手段により抽出されたデータ種別に基づいたオブジェクトを配置すること  
を特徴とする請求項 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記定義情報は、ユーザからの入力に従って変更可能であって、

前記プレビュー画面生成手段は、

前記ユーザからの入力に従って変更された定義情報を用いて、前記プレビュー画面を生成すること

を特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記プレビュー画面に含まれる画面項目に対して設定する値を記憶する値記憶手段として更に機能させ、

前記プレビュー画面生成手段は、

前記値記憶手段により記憶されている値が設定された前記画面項目を含む前記プレビュー画面を生成すること

を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 6】

前記プレビュー画面生成手段は、

前記値記憶手段に記憶されている値に基づき、前記値記憶手段に記憶されている値を設定する画面項目に対しては、前記値記憶手段に記憶されている当該画面項目に対応する値を設定し、一方、前記値記憶手段に記憶されている値を設定しない画面項目に対しては、当該画面項目に対応するデフォルト値を設定し、プレビュー画面を生成すること

を特徴とする請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】

前記プレビュー画面生成手段により生成されるプレビュー画面を閲覧するエンドユーザのロール又は表示言語の少なくともいずれか 1 つに応じて表示する項目を制御するプレビュー画面制御手段

として更に機能させ、

前記値記憶手段は、エンドユーザのロール又は表示言語の少なくともいずれか 1 つを記憶し、

前記プレビュー画面生成手段は、

前記値記憶手段により記憶されているエンドユーザのロール又は表示言語の少なくともいずれか 1 つを用いて、前記プレビュー画面制御手段に応じて項目の表示を制御したプレビュー画面を生成すること

を特徴とする請求項 5 又は 6 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 8】

情報処理装置が、

サーバで実行可能なプログラムを生成するための定義情報であって、前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に含まれる画面項目に係る定義情報を用いて、前記画面情報を生成するためのプログラムを生成するプログラム生成ステップと、

前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に対応するプレビュー画面を、前記定義情報のうち前記画面項目の表示に係る定義情報を用いて生成するプレビュー画面生成ステップと、

を実行することを特徴とする処理方法。

【請求項 9】

サーバで実行可能なプログラムを生成するための定義情報であって、前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に含まれる画面項目に係る定義情報を用いて、前記画面情報を生成するためのプログラムを生成するプログラム生成手段と、

前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に対応するプレビュー画面を、前記定義情報のうち前記画面項目の表示に係る定義情報を用いて生成するプレビュー画面生成手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的は、上記の問題に鑑み、画面項目の表示に係る定義情報を用いてプレビ

一画面を生成してアプリケーションの開発効率を向上させることが可能なプログラム自動生成装置の技術を提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、情報処理装置を、サーバで実行可能なプログラムを生成するための定義情報であって、前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に含まれる画面項目に係る定義情報を用いて、前記画面情報を生成するためのプログラムを生成するプログラム生成手段と、前記プログラムが実行されることにより生成される画面情報に対応するプレビュー画面を、前記定義情報のうち前記画面項目の表示に係る定義情報を用いて生成するプレビュー画面生成手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明により、画面項目の表示に係る定義情報を用いてプレビュー画面を生成してアプリケーションの開発効率を向上させることが可能となる。